



みなみっ子

43号

学校教育目標

○かしこく

○やさしく

○たくましく

令和8年1月13日(火)

南城市立大里南小学校

文責 校長 與儀 毅

不登校・登校しぶりについて

文部科学省の児童生徒の問題行動。不登校等生徒指導上の諸問題に関する調査結果から、不登校児童生徒数は、**小学校 137,704人**（前年度 130,370人）、中学校 216,266人（前年度 216,112人）、小・中学校全体で 353,970人（前年度 346,482人）と過去最多となっています。右のグラフは沖縄県内の不登校の令和2年度からの推移です。沖縄県内の不登校の児童生徒も全国同様、増加傾向にあります。南城市内の場合、昨年度までは全国や沖縄県内と同様に年々、増加傾向にありました。その背景として、児童生徒の休養の必要性を明示した「義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会の確保等に関する法律」の趣旨の浸透や、コロナ禍以降の保護者や児童生徒の登校に対する意識の変化、特別な配慮を必要とする児童生徒に対する早期からの適切な指導・必要な支援や、生活リズムの不調等を抱える児童生徒に対する指導・支援に係る課題が考えられます。

不登校に対して、以前は無理させてでも学校へ通わすことが多くあり、学校へ登校させること自体が目的となる場合もありました。しかし、上記にも示したように、児童生徒の休養の必要性を示した法律にもあるように、ケースによっては無理をさせないことも必要であることが確認されています。

自らの関わる子が「学校へ行きたくない」と言った場合、休養させたほうが良いのか判断に迷うと思います。その場合は、できるだけ早めに学校への相談をして下さい。学校も児童の困り感をできるだけ把握するよう日常生活の様子やアンケート等を活用して行きます。

ちなみに、南城市内の学校は11月時点での不登校の人数は昨年度の同時期と比較して、小学校では22名の減、中学校でも11名の減になっています。大里南小学校でも昨年度と比較して大幅に減少しています。そして登校復帰になっている児童も増えています。

学校では今後とも、不登校・登校しぶりを生じさせない学校づくりと全ての子が参加・参画でき分かる・できる実感できる授業づくりに努めます。保護者の皆様で不安が生じた場合は、遠慮無く学校へ相談して下さい。



学校前の道路の開通工事

学校前の道路開通のための工事が本格的に始まります。工事関係者の方々も細心の注意を払いながらの工事をしていただきますが、登校する子どもたちも、これまで以上に安全に気をつけることが望まれます。各家庭での安全指導の徹底をお願いします。あわせて各家庭においては、引き続き学校周辺への車両の乗り入れを控えるようお願いします。保護者以外で祖父母が送迎している場合はその方々への声かけをお願いします。

なお、安全に気をつけるのは、工事期間だけではありません。開通すると、交通量は確実に増加します。その場合、立哨指導の協力も今以上に必要になりますので、ご理解・ご協力お願いします。